

観光問題

Q 「観光の原点」の再確認は

A 温かく迎える体制確立を進めていく



柏原 孝至 議員

Q 白馬村の基幹産業は観光です。

村民も行政も「観光の原点」をもう一度考え、意識改革をして、お客様にも村民にも快適な村をつくるべきと考え、次の点を伺います。

観光の原点は「接客」です。「白馬村はたった1人のお客様でも村民全員で大歓迎いたします。それが村民の誇りです。」このような体制を取り、さらに観光地の質の向上に努め、観光局を中心にお客様に快適な村、白馬を作れば自然にお客様も増えると思うがいかがか。

A 訪れる方を温かくお迎える、という体制は、観光地として基本的でかつ重要な要素です。現在、

制は、観光地として基本的でかつ重要な要素です。現在、



五竜とおみエスカルプラザ内案内所、親切的な対応

観光局に白馬村CS 向上推進室を設置し、発生したクレームは、施設に向いて、担当者と面談するなか改善を求め、クレームの発生しない施設づくりに努めています。村内においても、独自に事業展開している地区もありますが、例では、八方地区の「ありがとうをカタチに」という事業であります。

お客様とのふれあいを大切にしたこと、千人大鍋や餅つきの振る舞いを行うお客様感謝デーや温泉のイベント等を企画され、加えてサーブス向上講習会等で接客マナーやサービス業者としての意識向上にも努めています。言われる観光の原点とは、まさにその通りだと共感します。

今後「白馬」を訪れた方を温かく迎える体制の確立に向け、観光局と協調しながら、進めていきたいと考えます。

関連質問

Q 白馬山麓スキー場のリフト、ケーブル券の共通化は。

A 索道事業者協議会へも共通券になるよう要請しています。

Q スキー客の底辺の拡大、修学旅行、学校行事の強力な誘致は。

A 東京都、愛知県、大阪府等の中学校、高校を対象に進めています。

Q 各スキー場の祭りを白馬の雪祭りとしての一歩は。

A 意見の集約を図りながら、模索していきま

Q 47スキー場くみそら野間平川仮設橋設置

A 神城山麓線の開設に力を注ぎ延長線上で常設橋を考えていきます。

Q スノーハープのホタル育成支援と観光利用

A 内山21会と協議しながら進めていく。